

令和8年度 東京都立芦花高等学校 学校経営計画

東京都立芦花高等学校

校長 園部直美

## 1 目指す学校像

### 【教育目標】

自主 …… 自学自習の精神に溢れ、生涯にわたり自主的に学び行動する生徒を育成する

創造 …… 創造的精神に溢れ、国際社会に貢献しようとする意欲ある生徒を育成する

誠実 …… 人権尊重の精神に溢れ、仁慈に富み、明朗かつ誠実な生徒を育成する

### 【スクール・ミッション】

「自主、創造、誠実」を教育目標に、生徒一人一人の個性や進路希望等に応じた多様な学習や、キャリア・ビジョンを創造・具現するキャリア教育を通して、主体性をもって学びに向かう力、社会の課題を解決し価値を創造する力、豊かな人間性、協働性を持った人材を育成する。

### 【スクール・ポリシー】

#### (1) グラデュエーション・ポリシー

グローバル社会、超スマート社会・創造社会 Society5.0 を生きる力として、主体性をもって学びに向かう力、社会の課題を解決し価値を創造する力、確かな学力、豊かな人間性、健康と体力を育成するとともに、将来を見据えて国内外で活躍するキャリア・ビジョン(進路希望)を創造し、夢をかたちにする力を育む。

#### (2) カリキュラム・ポリシー

第二外国語、保育基礎、弓道、ビジュアルデザイン等の多彩な選択科目を設置するなど、単位制高校の利点を生かし、進路希望実現を意図した系統的な科目の履修及び興味・関心の幅を広げる科目の履修を通して、確かな学力やグローバルな教養を身に付けさせる。

#### (3) アドミッション・ポリシー

(ア) 大学進学等将来への目標が明確であり、入学後も主体的に学習に取り組むことができる生徒

(イ) 思考力、判断力、表現力を身につけ、全ての教科の学習に積極的に取り組むことができる生徒

(ウ) 授業とともに、学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組むことができる生徒

(エ) 自己の生活管理のもと、芦花高校の一員として自覚をもってチームとして協働することができる生徒

## 2 中期的目標と方策

本校は、上記の教育目標の達成とともに、スクール・ミッション、スクール・ポリシーに基づき、学習指導、特別活動(ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動)の指導及び部活動指導をバランスよく行う。また、多様な考えを受容する柔軟さと、TPOを意識した主体的な行動ができる生徒のために、積極的に改革を行う。

### (1) 学習指導・教科指導

〈目標〉 デジタルとリアルを融合した「新たな教育のスタイル」の確立に向け、教育課程からみた学習指導・教科指導の充実のための改革に努める。また、知識・技能、思考力・判断力・表現力、課題解決力、探究力、創造力を育成し、学力向上を図る。

〈方策〉 (ア)授業を中心とするすべての教育活動を、横断的・効果的・効率的にとらえ、確かな学力と豊かな教養を醸成する。

- (イ)生徒の学力分析や生活状況調査、学校評価、授業評価の結果から課題を抽出し PDCA を実践する。
- (ウ)組織的なO J Tや校内研修等を通して授業力、進学指導力、デジタル技術活用力の向上を図る。
- (エ)月に1回の頻度で教科会を実施し、より高い進路実現のために教科指導のPDCAを充実させる。

## (2) 進路指導・キャリア教育

〈目標〉生徒が将来を見据えて社会で活躍するためのキャリア・ビジョンを構築・実現させる進路指導を行う。

〈方策〉(ア) キャリアガイダンス部が中心となり、大学出張講義等の進路行事を、組織的・計画的に実践する。

(イ)探究的な学びを深めるとともに、社会参画を目指したキャリア教育を実践し、より高い希望進路の実現を図る。

(ウ)キャリアガイダンス部と各年次が円滑に連携し、計画的で多様な進路指導体制を構築する。

(エ)進学指導等の充実事業推進校として、学習環境整備や人的配置を充実させ、進路実績の充実を図る。

## (3) 生活指導・特別活動・部活動・教育相談・防災教育

〈目標〉本校生徒としての帰属意識・規範や道徳心、誠実さを醸成し、社会生活における自己管理能力を養う。

〈方策〉(ア)全生徒が協働するチームとして、校内のルールを遵守し、美化に努める指導を実践する。

(イ)すべての特別活動・部活動・地域活動において、文武両道を実践するとともに、生徒の主体的な力を伸ばす指導体制を構築する。

(ウ)すべての教育活動において、お互いを尊重し、主体性、向上心、コミュニケーション能力を育てる。

(エ)望ましい生活習慣を確立させたいうで、心身の健康の保持と体力増進、豊かな人間関係作りを図る。

(エ)教育相談や特別支援教育の実践において、スクールカウンセラーや外部機関等と連携しながら、生徒・保護者に寄り添う体制を構築する。

(オ)避難訓練や地域と連携した防災教育等を通して、生徒に防災への危機管理と対応策を理解させる。

## (4) 国際理解教育の推進

〈目標〉海外学校間交流推進校事業等により国際理解教育を推進する。

〈方策〉(ア)海外からの学校訪問や留学生の積極的な受け入れを積極的に実践し、生徒の国際感覚を醸成する。

(イ)海外研修や生徒の海外派遣、オンライン交流等の活用により、多様な価値観への理解を図る。

(ウ)生徒が積極的・主体的・継続的に外国語を学び、多文化共生や他国と協働する精神を育成する。

## (5) 募集対策

〈目標〉普通科単位制高校としての魅力を生かした教育活動を積極的に発信することで、都民や保護者、地域からの信頼と関心をいただける開かれた学校づくりを実践する。

〈方策〉(ア)関係諸機関との連携や、中学校や塾、地域の方への訪問によるPRを推進する。

(イ)日々の教育活動の実践について、ホームページやSNS等で積極的に発信する。

(ウ)近隣地域や教育機関との連携・交流、学校開放、教育活動に係る情報発信等を通して、地域に根ざした学校づくりを推進する。

## (6) 学校経営・危機管理

〈目標〉教職員がライフ・ワーク・バランスを実現させ、その指導力及び職務遂行能力を十分に発揮し、教員と経営企画室が、チームワークよく協働する。また東京都の教職員としての人材育成を積極的に推進する。

〈方策〉(ア)全教職員がチームとなり、分掌等主任を中心として組織的・計画的に業務を遂行する。

(イ)研修への参加や校内O J Tにより、若手や中堅の教職員を学校全体で育成する。

(ウ)ライフ・ワーク・バランスを実現させるため、業務効率化、働き方改革を推進する。

(エ)働き方改革を推進する方策の一つとして、職員室の環境改善に向けた取組を計画・実行する。

(オ)経営企画室職員と教員が連携を取り、円滑かつ迅速な学校運営を実践する。

### 3 今年度の取組目標と方策、数値目標

#### (1) 学習指導・教科指導

〈目標〉(ア)学ぶ楽しさ、わかる・できる喜びを実感・共有できる授業により、学力と体力の向上を図る。

(イ)探究活動等を通じて主体的で対話的な論理的思考力を養う授業を、意図的・計画的に実践する。

(ウ)「進学指導等の充実事業推進校」の取組を通して、年次進行と共に多くの生徒の学びを深化させ、生徒の高い進路希望実現を図る。

〈方策〉(ア)希望の進路実現を意図した系統的な履修及び興味・関心の幅を広げる科目の履修を通して、教科横断的かつ効果的・効率的に、深い学力や幅広い教養を身に付けさせる。

(イ)デジタルサポーターや一人1台端末、ICTサポートツール等を活用し、学習支援アプリ等を活用した自宅学習課題の取組指導を行い、分析、振り返り、改善をおこなう。

(ウ)生徒の主体的・能動的な学習姿勢を育むため、探究的な授業の推進等、指導方法の工夫に努める。

(エ)講習の実施を通して、生徒の進路希望に応じたきめ細かな指導を行う。

(オ)始業前、放課後の自学自習時間の充実、自学自習スペースや外部人材の活用をおこなう。

(カ)ティーチングアシスタントを活用しながら学習環境の整備をおこない、よりよい進路結果を出す。

(キ)学校全体の授業力向上のために、教員相互の授業見学や授業研究等のOJTを積極的におこなう。

(ク)JETやALT、TGG体験等を通して、生徒が日常的に英語に触れ、英語4技能の向上を図る。また外部検定の受験に向け自己啓発を目指す。

(ケ)学校図書館や新聞を活用し、読書活動を含む言語活動や探究活動、プレゼンテーション力や質問力を育成する。

(コ)「生涯の健康に関する理解促進事業」指定校としての取組を充実させ、QOLの向上に努める。

(コ)体力の維持向上、心身の健康の保持増進のため、体育の授業において体幹トレーニングに取り組む。

(シ)「私たちが拓く日本の未来」等を活用し、生徒が社会の一員であることを自覚し、主権者教育の充実を図る。

〈数値目標〉生徒の授業満足度 90%(R7:86%) 実用英語検定 2級以上合格 70人 (R7:68人)

東京都体力・運動能力調査の体力合計点平均値 東京都平均以上(R6:男女とも平均値と同数値)

#### (2) 進路指導・キャリア教育

〈目標〉(ア)組織的・計画的なキャリア教育を通して将来の自分を見つめて高校卒業後のキャリア・ビジョンを創造し、実現させる。

(イ)「進学指導等の充実事業推進校」として、キャリアガイダンス部が中心となり全教員で行う。国公立大、難関私立大をはじめとする生徒の進路希望実現に向けた指導を、変化の激しい受験状況に応じて見直しながらおこなう。

〈方策〉(ア)常に生徒の状況を把握し、キャリアガイダンス部をはじめ教務部・生活指導部・年次・教科が一体となって、最新の情報収集に努めながら、多角的できめ細かな進路指導を実践する。

(イ)進路ガイダンス、大学説明会等を実施し、生徒により高い目標をもたせて意欲を高めるとともに、学力分析や志望校検討会等の実施を通して、進路希望実現に向けて個に応じた丁寧な指導を行う。

(ウ)講習の計画的実施、自習室等の利用促進等を通して、難関に挑む意欲を高めていく。

(エ)生徒に実力テストの意義を自覚させ、個々の弱点や課題を把握させる。効果的な学習方法を具体化し、実践できるよう、実力テストの結果に基づく指導をきめ細かく効果的に行う。

- (オ) ホームルーム担任による個人面談・三者面談、キャリアガイダンス部による進路相談等、面談・相談体制を充実させ、生徒の進路意識の啓発に努める。
- (カ) 生徒・保護者への進路情報の提供を通して、学校、生徒、保護者が一体となった進路指導を行う。
- (キ) 学年集会、進路指導会等を通して生徒の学習意欲を向上させ、団体戦で臨む受験の意識を醸成する。

〈数値目標〉 大学現役合格者数 国公立大 4 名 (R7:2 名)

難関私大早慶上理・ICU・GMARCH 32 名 (R7:27 名)

中堅私大 成成明國武・日東駒専 130 名 (R7:114 名)

### (3) 生活指導・特別活動・部活動・教育相談

〈目標〉 (ア) 心身の健康を重視しながら、生徒が生徒手帳の内容を理解し実践する指導体制を構築する。

(イ) 本校への帰属意識や道徳心、誠実さを醸成し、将来社会で活躍する人材として自己管理能力を養う。

(ウ) 望ましい生活習慣を確立させ、安心・安全な学校生活のなかで豊かな人間関係づくりを図る。

#### 〈方策〉 生活指導

(ア) 全教育活動を通して道徳的価値感を自覚させ、他者を思いやる心や規範意識の育成を図る。

(イ) 授業規律をはじめとする基本的な生活習慣の確立を図るとともに、挨拶励行、時間厳守に向けた指導、身だしなみ指導を組織的におこない、全教員が一丸となって校内ルールの遵守を指導する。

#### 特別活動・部活動

(ウ) 学校行事では生徒が相互に連携する集団づくりを目指し、帰属意識による充実感を得られるよう、限られた時間の中で、効率的かつ安全な指導方法を実践する。

(エ) ホームルーム活動において、望ましい人間関係を形成し、帰属意識や連帯感を育む。

(オ) 美化活動の推進により、生徒の生活環境を整備する習慣づくりをする。

(カ) 生徒会活動では、生徒主体のよりよい学校生活づくりを実践し、協力する姿勢や態度を育む。

(キ) 部活動においては豊かな人間関係作りに努め、保護者の協力のもと部活動の活性化、技術の向上、心身の健康増進等において、推進する。

(ク) 避難訓練等の実施にあたり、関係機関と連携しながら防災教育を推進し、教職員・生徒がともに自助・共助の気持ちを持ち、危機管理意識を高めて行動できるようにする。

(ケ) 近隣地域や世田谷区役所をはじめとする外部機関との連携により、ボランティア活動を含む積極的な社会参画の姿勢を育む。

#### 教育相談

(コ) 生徒の心身の健康状態を組織的に把握し、スクールカウンセラー等を活用し、迅速かつ組織的に教職員が対応する。また、生命尊重や S O S の出し方等を常に伝え、学校の相談機能の充実を図る。

(ク) 教育相談部会・学校いじめ防止対策委員会を計画的・臨時的に実施する。担任やスクールカウンセラー等による面談を通して生徒の悩みの把握及び解決に努める。

(シ) 特別支援教育の推進・実践について教職員が適切に共通理解をし、集団活動を通してよりよい生活や人間関係を築くための自主的な態度を育成する。人間としての生き方・あり方について、自己を生かす能力を養う。スクールカウンセラーやエリアネットワークを活用しながら、特別支援コーディネーターを中心として教職員が組織的に対応し、生徒や保護者に寄り添う体制を作る。

(ス) 講習会等を実施し、「芦花高校 S N S ルール」に基づいた、情報リテラシー、情報モラルを育成する。

〈数値目標〉 部活動加入率 85% (R7:83%)

部活動関東大会以上の大会出場 8 件 (R7:7 件)

#### (4) 国際理解教育の推進

〈目標〉(ア)海外の方と交流する機会を多くもつことにより、多様な価値観を受け入れられる生徒を育成する。

(イ)海外学校間交流推進校事業等により、海外研修をはじめとする国際理解教育を推進する。

(ウ)生徒が将来、グローバル社会で活躍できるための心理的障壁をなくし、国際的なコミュニケーション力を育む。

〈方策〉(ア)生徒が積極的・主体的・継続的に外国語を学び、多文化共生や他国と協働する精神を育成する。

(イ)海外からの学校訪問や留学生の積極的な受け入れを積極的に実践し、生徒の国際感覚を醸成する。

(ウ)海外研修や生徒の海外派遣、オンライン交流等の活用により、多様な価値観への理解を図る。

(エ)海外の学校や大使館等を含めた日本国内の在京海外施設との交流を推進する。

(オ)3回目となるマレーシア研修旅行に加え、今年度から開始する大韓民国研修旅行を実施する。

(カ)多言語に触れる機会を設け、多様な文化・歴史等への理解やコミュニケーション能力を醸成する。

(キ)日本の文化・歴史・自然等を深く学ぶことで自国への理解を深め、日本についての誇りを持つ。

〈数値目標〉国際交流事業 8件(R7:8件)

#### (5) 募集対策

〈目標〉(ア)本校の教育実践を広く都民、中学生に発信し、本校の教育活動に対する理解や信頼を促進する

(イ)普通科単位制高校としての魅力を生かした教育活動について、積極的に広くPRする。

(ウ)開かれた学校づくりを実践することで、多くの方に本校に関心を持っていただく。

(エ)効果的な募集対策方法により、全校体制で令和9年度入試に向けたPRを実施する。

〈方策〉(ア)中学校や塾、地域の方への訪問によるPRを推進する。ホームページの更新頻度を高めて本校の特色を積極的に発信し、本校の特色ある教育活動の様子を広く都民に発信する。学校訪問者に対して授業及び部活動の成果展示を行い、教育活動の理解を深めていただく。

(イ)教育活動の実践について、ホームページやSNSを活用し、積極的に発信する。

(ウ)全教職員の協力体制のもとに授業公開や学校説明会を計画的に実施し、生徒が入学したい学校、保護者が入学させたい学校づくりを実践する。

(エ)学校開放や教育活動に係る情報を地域や関係機関等に発信し、地域に根差した学校づくりを実践する。また、中部学校経営支援センター『リアルタイムズ』等に、本校の教育活動を積極的に投稿する。

〈数値目標〉入学者選抜応募倍率 推薦 2.00倍以上(R7:1.88倍) 学力一次 1.60倍 (R7:1.46倍)

学校説明会・授業公開・文化祭来場者合計数 9,900人(R7:9859人)

ホームページ更新回数 16回/月 (R7:15回/月)

#### (6) 学校経営・危機管理

〈目標〉(ア)教職員がライフ・ワーク・バランスを実現させ、その指導力及び職務遂行能力を十分に発揮する。

(イ)教員と経営企画室職員が連携を強化しながら、企画調整会議を基軸とし、教職員全体がワンチームとなって学校経営計画に基づく業務を安心・安全に、危機管理意識を常に持ち事故なく遂行する。

(ウ)東京都の教職員としての人材育成を、組織全体で積極的に推進する。

〈方策〉(ア)教員と行政職員がチームとなり、分掌等主任を中心として組織的・計画的に業務を円滑に遂行する。

(イ)研修への参加や校内OJTにより、若手や中堅の教職員を学校全体で育成する。

(ウ)企画調整会議を計画的で効率的な業務の遂行により在校時間を縮減させ、全教職員のライフ・ワーク・バランスを実現する。

- (エ)各分掌・学年・教科が相互に連携・協働し、目標達成に向けた分掌・年次運営、教科指導をおこなうことで、P D C A マネジメントサイクルを効率よくかつ効果的に機能させ、改善し続ける。
- (オ)各種委員会、校内研修等を通して、教職員が協働して学校課題の解決に努める。
- (カ) I C T、統合型校務支援システム、定期考査採点・分析システムの利活用を促進する。
- (キ)教職員の育児（男女問わず）や介護等において周囲が理解・協力し、その環境を整備する。
- (ク)全教職員が職責を自覚し、「教職員の服務に関するガイドライン」に基づき、服務の厳正に努める。
- (ケ)服務事故の根絶を目指す。また生徒指導においていじめの未然防止・早期発見・対応に努める。
- (コ)施設・設備の点検と維持管理を強化し、安全管理と事故防止に努める。
- (サ)自律経営予算をはじめとするすべての予算の執行について、適正かつ計画的に管理する。
- (シ)全教職員が都民サービスの視点に立った電話対応・窓口業務、広報活動を推進する。

〈数値目標〉 学校評価の学習指導、進路指導、学校満足度における生徒の肯定的評価 各 90%以上  
(R7：学習指導 86%、進路指導 89%、学校満足度 92%)

保護者の進路相談満足度 85%以上 (R7：80%) 服務事故 0件 (R7：0件)